

八代のアサリ漁業V字回復実証事業委託業務

公募型プロポーザルに係る質問回答書

令和7年7月4日

No.	質問内容	回答
1	【仕様書 4 業務の内容 (2) 八代産アサリの垂下式育成の実証】について 仕様書に「12月から3月の低水温期に実証試験を実施した」とあるが、この結果と比較するために実証時期の見直しを行うが、その期間は同じ3～4ヶ月間程度と考えれば良いか。	仕様書4(2)①の「低水温期以外の育成効果が不明」という課題解決につなげるためには、同程度の期間の実証試験が望ましいと考えるが、期間を変更しても課題解決につながる実証が可能であれば、同程度の期間の実施が必須ではない。
2	【仕様書 4 業務の内容 (3) 産地別アサリの特性比較】について 仕様書に「八代産アサリに関するデータを収集し、特性データの補完をする」とあるが、他地域産アサリに対する八代産の優位性は確認済みであるため、本業務で対象とする産地については、八代管内の産地に絞って実施すると考えれば良いか。	本業務では、八代市管内産のアサリを対象にした企画提案をいただきたい。
3	【仕様書 4 業務の内容 (4) ブランド化に向けた試験販売】について 仕様書に「従来の直販所や地元イベント等を活用した販売では対応が追いつかず、オンラインや既存のツールを活用した販売の実証が必要」とあるが、現時点で漁協等が保有し、本業務で活用可能なツールがあれば教えてほしい。	現時点で、発注者及び関係漁協等が保有している以下のツールは活用可能である。 ・「熊八あさり」ホームページ ・水産物販売用のECサイト ・Instagram ・LINE
4	【仕様書 4 業務の内容 (5) 八代産アサリの魅力を伝える観光漁業の実証】について 仕様書に「本業務では地域資源の魅力を伝え、漁業者の収益向上を図る観光漁業の体験イベント、そのイベントの実施手法等について企画検討する」とあるが、体験イベントとは“潮干狩り”を除いて考えるのではなく“潮干狩り”を含めた検討であると考えて良いか。	「潮干狩り」も含めて検討いただきたい。八代産のアサリの魅力を伝えることにつながる取組みであれば、幅広く検討いただき、企画提案をいただきたい。
5	【仕様書 4 業務の内容 (6) 漁獲作業の省力化実証】について 被覆網の付着物は、時期によって付着する生物やその量が異なる可能性がある。省力化実証の手法については、実証時期も含めた検討・提案であると考えて良いか。	実証の時期も含め企画提案をいただきたい。